

**OLYMPUS**

True to Life

# Olympus Vision

2023年3月期 中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

証券コード:7733





取締役 代表執行役 社長兼CEO  
(最高経営責任者)

竹内 康雄

## CEOメッセージ

“ オリンパスは事業を通じて  
付加価値の高いイノベーションを創造し、  
持続的な社会の実現に貢献します ”

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、ウクライナにおける戦争に関し、惨禍に見舞われた方々が一刻も早く平和な生活を取り戻すことを心より願っております。オリンパスグループは、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」という経営理念に基づき、お客さまや患者さんに新しい価値を提供することを追求してまいります。

## 2023年3月期第2四半期累計実績と 通期業績見通し

当社は2022年4月に科学事業を株式会社エビデントとして分社化、2022年8月には同事業を第三者に譲渡する契約を締結し、2023年1月に株式会社エビデントの全株式を譲渡する予定です。これに伴い、当第2四半期より科学事業を非継続事業として分類し、継続事業とは区分して開示(国際会計基準)しております。

当第2四半期累計期間は、半導体をはじめとする部品の供給不足、原材料価格の高騰、上海ロックダウン、ウクライナにおける戦争などの先行き不透明な環境の中、さまざまな対策を講じ、増収増益を達成しました。医療分野では、第2四半期及び累計としても過去最高の売上高と

なり、連結で16%の増収となりました。特に消化器内視鏡システム「EVIS X1」シリーズや泌尿器科における前立腺肥大症用の切除用電極と尿路結石用破碎装置、消化器科処置具が成長を牽引しています。営業利益は、四半期報告書の開示を開始した2009年3月期から額・率ともに過去最高となる936億円(営業利益率:22.4%/調整後営業利益率:19.0%)となりました。

また、通期の売上高は前期比19%増の8,920億円を見込んでいます。第3四半期以降は、原材料価格上昇の影響等の費用発生を見込んでいますが、営業利益は前期比45%増の2,120億円(営業利益率:23.8%/調整後営業利益率:22.5%)となる見通しです。引き続き経営戦略で掲げた調整後営業利益率20%超の目標の達成に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。

## 2023年3月期 第2四半期累計実績および通期業績見通し 連結業績

|              |   | 2022年3月期<br>第2四半期<br>累計実績 | 2023年3月期<br>第2四半期<br>累計実績 | 前年同期比 | 2023年3月期<br>通期見通し |
|--------------|---|---------------------------|---------------------------|-------|-------------------|
| 継続事業         | 売上高                                     | 3,601億円                   | 4,171億円                   | +16%  | 8,920億円           |
|              | 営業利益                                    | 707億円                     | 936億円                     | +32%  | 2,120億円           |
|              | 継続事業からの<br>四半期利益                        | 584億円                     | 695億円                     | +19%  | 1,570億円           |
| 継続事業 + 非継続事業 | 親会社の所有者に<br>帰属する<br>四半期損益 <sup>*1</sup> | 624億円                     | 668億円                     | +7%   | 3,870億円           |

\*1 2023年1月に非継続事業(エビデント)の全株式を譲渡する予定のため、非継続事業の2023年3月期最新見通しは、第3四半期までの数値になります

## CEOメッセージ

### 世界をリードするグローバル・メドテック カンパニーへの変革

当社は、経営戦略において、戦略目標として「世界をリードするメドテックカンパニーへと成長し、革新的な価値によって患者さん、医療従事者、医療機関、医療経済にベネフィットをもたらす、世界の人々の健康に貢献する」ことを掲げています。一つのマイルストーンとして2023年3月期に調整後営業利益率20%超<sup>\*1</sup>を目指し、さまざまな取り組みを推進してまいりました。医療分野を中心とした事業ポートフォリオに変化する中で、なかでも注力分野である消化器科、泌尿器科、呼吸器科の取り組みをさらに強化してきました。消化器科では、消化器内視鏡システム「EVIS X1」を発売済み市場で拡販するとともに、米国や中国などの市場で今後着実に投入できるよう準備を進めています。また、泌尿器科では、前立腺肥大症(BPH)や膀胱がん、結石治療に対する治療機器の販売が好調に推移しています。呼吸器科では、EBUS-TBNA<sup>\*2</sup>ポートフォリオの市場拡大を継続し、Veran 電磁ナビゲーションプラットフォームによる肺がん診断領域へのソリューションも拡大しています。当社は、今後も事業を通じて当社にしか提供できない付加価値の高いイノベーションを創造し、すべてのステークホルダーに対する社会課題の解決を図ることで、持続的な社会の実現に貢献することを目指してまいります。

<sup>\*1</sup> 営業利益から、「その他の収益・その他の費用」を差し引く。為替変動の影響については調整を行わず、実績の為替レートをを用いる

<sup>\*2</sup> Endobronchial ultrasound-transbronchial needle aspiration

### FY2024組織体制

2022年10月、代表執行役社長兼CEO交代及び執行役の体制変更について、お知らせをいたしました。本役員人事は、真のグローバル・メドテックカンパニーとしての組織の効率性向上と持続的な成長を目的としています。来年4月からは、これまで変革に寄与したCAO(最高管理責任者)とCOO(最高事業責任者)の役職を発展的に解消する一方で、内視鏡事業・治療機器事業のビジネスリーダー、CQO(最高品質法規制

責任者)、チーフヒューマンリソースオフィサー(最高人事総務責任者)、およびCSO(最高経営戦略統括責任者)を執行役の一員とし、一段とスピード及び実行力を強化してまいります。新CEOに就任予定のシュテファン・カウフマンはヨーロッパ地域の統括を長く経験後、2019年からは日本にベースを移し、強力なリーダーシップでTransform Olympusを牽引し、当社の経営効率改善を実現しました。私は来春から取締役代表執行役会長として、シュテファンがオリンパスを次の成長へ導き、組織を効率的に運

営できるように、全力でサポートしていきたいと考えています。



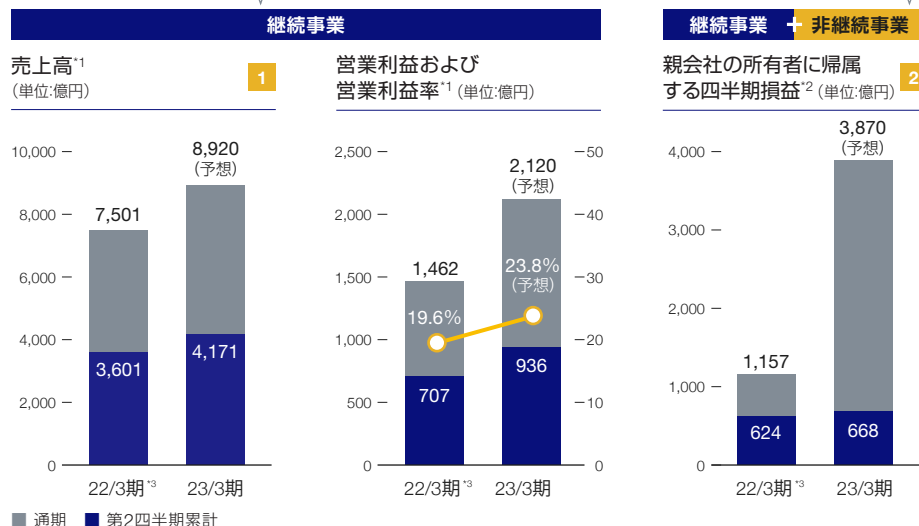
[詳しくはこちら](#) 代表執行役社長兼CEO交代のお知らせ ニュースリリース > <https://www.olympus.co.jp/news/2022/nr02412.html>



## 業績の推移

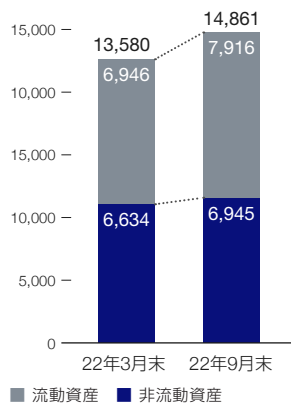
**1** 第2四半期累計では、内視鏡・治療機器事業ともに2桁成長を達成し、連結で+16%成長

**2** 科学事業の譲渡に伴う譲渡益を計上し過去最高の3,870億円となる見通し

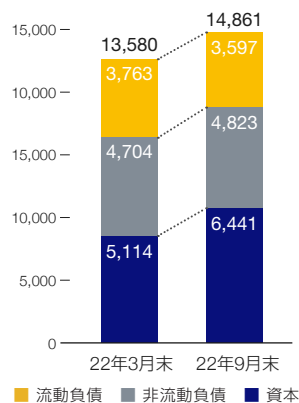


### 財政状態 (単位:億円)

#### 資産合計



#### 負債・資本合計

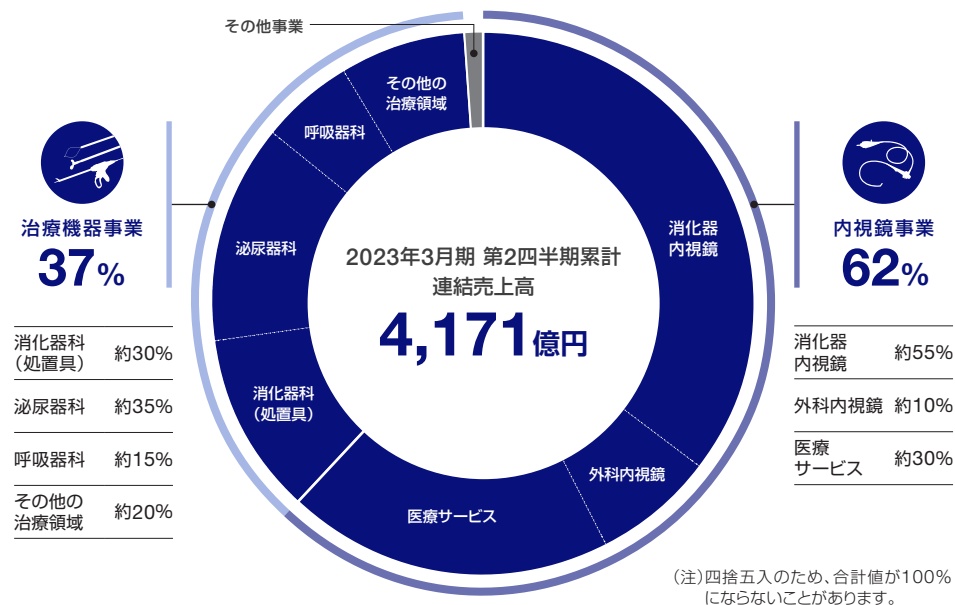


\*1 「売上高」と「営業利益および営業利益率」の数値は、継続事業の数値を記載しております

\*2 2023年1月に非継続事業（エビデント）の全株式を譲渡する予定のため、非継続事業の2023年3月期最新見通しは、第3四半期までの数値になります

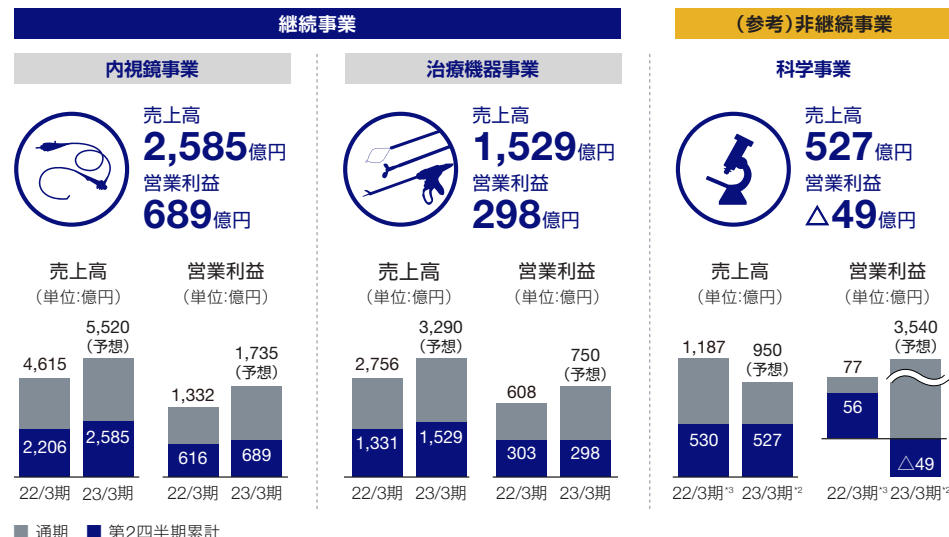
\*3 2022年3月期通期の実績は監査前の数値です

## 事業別の概況



(注) 四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります。

### 2023年3月期 第2四半期累計実績



## 2023年3月期の主なトピック

### 外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE III」を発売

当社は、外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE III(ビセラ・エリート・スリー)」を発売し、欧州、中東、アフリカ、アジア一部地域、オセアニアおよび日本で、順次販売を開始しています。当社とソニー株式会社との医療事業に関する合併会社であるソニー・オリンパスメディカルソリューションズ株式会社が技術開発を担当した本製品によって、医療現場の効率化と内視鏡外科手術の質の向上に貢献します。

#### 「VISERA ELITE III」の主な特長

##### 01 4Kや3D、IR観察などの機能を一つのプラットフォームで対応

従来機種である「VISERA ELITE II」は3D、IR、NBI\*観察、「VISERA 4K UHD」は4K、NBI観察の機能を有していますが、本製品は、これらの機能を一つのプラットフォームで対応可能にしました。院内のオペレーションがシンプルとなり、手術の効率化と医療従事者の負担低減に貢献します。

##### 4K

フルハイビジョン映像に比べて画素数が約4倍となる4K(3840X2160ピクセル以上)技術により、細部までクリアで高精細な映像が得られ、手術時の視認性向上に貢献します。

##### 3D

立体視が可能になり、モニター上でも奥行きが把握しやすくなるため、患部の切除や血管封止などの施術がしやすくなることが期待されています。縫合時や例えば胃切除術などで、組織を立体的に認識することで手術をサポートします。

##### IR

血流情報が強調表示されるIR(赤外光)観察により、通常光で見るとより分かりやすく、血管や血流などの観察をサポートします。例えば、腹腔鏡下直腸切除術での直腸吻合時の血流確認や、肝切除術の切除部位の確認などに使用されます。

##### NBI

粘膜表面の血管などの組織の視認性を高める光学イメージング技術。通常光による観察では見えづらかったがんなどの微細病変の早期発見に貢献することが期待されます。例えば、膀胱内の粘膜表面の見えにくいがんなどの病変を発見するために使用されます。

##### 02 オープンプラットフォーム化

本製品は、一般外科、泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科など、幅広い診療科で機器を共有できます。

\*Narrow Band Imaging: 狭帯域光観察

##### 03 フォーカス自動調整と焦点深度の深化

フォーカス調整の回数を低減させ、近景から遠景までより鮮明な画像取得が可能な機能を搭載しています。



##### C-AF

##### コンティニュアスオートフォーカス機能

ソニー独自のコア技術であるスコープの動きに合わせてフォーカスを自動調整する機能。連続的なフォーカス追従が可能となり、フォーカス調整の手間が省けます。



##### EDOF

##### 被写界深度拡大機能

被写界深度を拡大させ、より広い領域にピントを合わせることが出来る機能。近景から遠景までより鮮明な画像取得が可能です。

これらの機能により、手術の最初から最後まで高画質な4K観察を提供できるだけでなく、フォーカス調整のストレスが軽減されるなど、医師や助手に新たな価値も提供します。

詳しくはこちらから

VISERA ELITE III ニュースリリース >

<https://www.olympus.co.jp/news/2022/nr02388.html>



これまでの製品の歩み

## History

ソニーの有する最先端のデジタルイメージング技術×オリンパスがもつ光学技術や医療機器開発のノウハウなどの知見

2022年

外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE III」を発売

ソニー × オリンパス

2017年 ソニー×オリンパス

4K 3Dビデオ技術搭載の手術用顕微鏡システム

「ORBEBYE」を発売



2017年 オリンパス

3DおよびIR(赤外光)観察に対応した外科手術用内視鏡システム

「VISERA ELITE II」を発売



2015年 ソニー×オリンパス

4K技術搭載の外科手術用内視鏡システム

「VISERA 4K UHD」を発売



2013年

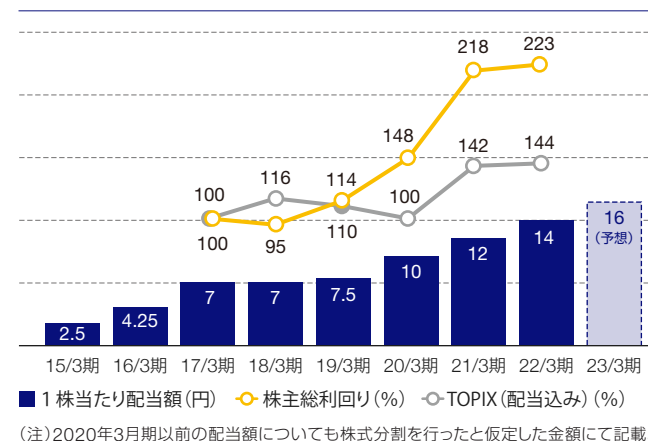
ソニーとの合併会社である、ソニー・オリンパスメディカルソリューションズ株式会社を設立。ソニーが有するデジタルイメージング技術などの最先端のエレクトロニクス技術と、オリンパスが有するレンズ、光学技術などの医療機器製造・開発技術を組み合わせ、新たな製品の研究および開発に取り組んでいます。

## 株主還元の方針

当社は、株主価値向上及び、株主の皆さまのご期待に応えるため、下記の方針に基づき、キャッシュアロケーションを行っております。安定した財務基盤の確保を前提とし、医療分野を中心とした成長領域への投資に優先的に活用した上で、安定的な株主還元を実施することを基本方針としています。



1株当たり配当額とTSR(株主総利回り)の推移



## 企業情報サイトのご案内

### 「サステナビリティ」

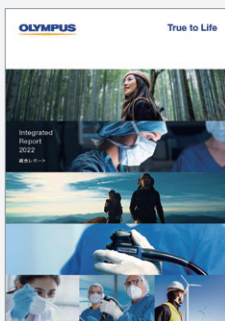
ガバナンス・社会・環境側面の詳細なデータを掲載しています



<https://www.olympus.co.jp/csr/>

### 「統合レポート2022」

経営戦略の進捗やオリンパスの目指す姿、コーポレートガバナンスの状況を解説しています



<https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/2022.html?page=ir>

### 「オリンパスの医療分野」

当社医療分野の強みや基本的な知識を紹介しています



<https://www.olympus.co.jp/ir/data/medical.html?page=ir>

### 「おなかの健康ドットコム」

おなかにまつわるさまざまな病気を紹介するとともに、がん検診制度や内視鏡検査について解説しています

おなかの健康ドットコム

<https://www.onaka-kenko.com/>

**OLYMPUS**

オリンパス株式会社 (証券コード:7733)

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モリス  
(03)3340-2111(代表) <https://www.olympus.co.jp/>

### 株主総会資料の電子提供制度について

会社法改正に伴い、株主総会資料(招集ご通知)は、原則ウェブサイト上での提供になります。2023年の株主総会資料の書面を希望される場合は、2023年3月31日までに、お取引のある証券会社または株主名簿管理人を通じて書面交付請求手続きが必要です。詳細は、当社ホームページに掲載しています。

<https://www.olympus.co.jp/ir/stock/meeting.html?page=ir>